

次のように定められた数列  $\{a_n\}$  を考える.

- $a_1 = 10, \quad a_{n+1} = 10\sqrt{a_n} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$   
(1)  $b_n = \log_{10} a_n$  とおくとき,  $b_{n+1}$  を  $b_n$  の式で表すと  $b_{n+1} = \boxed{\text{キ}}$  である.

- (2) 数列  $\{a_n\}$  の一般項は  $\boxed{\text{ク}}$  である.

- (3)  $a_n \geq 60$  となる最小の自然数  $n$  は  $\boxed{\text{ケ}}$  である.

ただし,  $\log_{10} 2 = 0.3010, \log_{10} 3 = 0.4771$  とする.

(25 青山学院大 社会情報 B 3)

---

[答]	キ	ク	ケ
	$1 + \frac{1}{2}b_n$	$10^{2-2^{1-n}}$	4

---

【解答】

$$a_1 = 10, \quad a_{n+1} = 10\sqrt{a_n} \quad (n \geq 1) \quad \cdots \cdots (*)$$

- (1)  $(*)$  で定められた数列  $\{a_n\}$  は, 数学的帰納法によりすべての自然数  $n$  に対して  $a_n > 0$  であることがわかる. 辺々の常用対数をとると

$$\begin{aligned} \log_{10} a_{n+1} &= \log_{10}(10\sqrt{a_n}) \\ \log_{10} a_{n+1} &= 1 + \frac{1}{2} \log_{10} a_n \end{aligned}$$

であり,  $b_n = \log_{10} a_n$  とおくと

$$b_{n+1} = 1 + \frac{1}{2}b_n \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

が得られる.

- (2) (1) の漸化式は

$$b_{n+1} - 2 = \frac{1}{2}(b_n - 2)$$

と変形される. 数列  $\{b_n - 2\}$  は初項  $b_1 - 2 = \log_{10} a_1 - 2 = \log_{10} 10 - 2 = -1$ , 公比  $\frac{1}{2}$  の等比数列であるから

$$\begin{aligned} b_n - 2 &= (-1) \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} \\ b_n &= 2 - 2^{1-n} \end{aligned}$$

であり, 数列  $\{a_n\}$  の一般項は

$$\begin{aligned} \log_{10} a_n &= 2 - 2^{1-n} \\ \therefore a_n &= 10^{2-2^{1-n}} \quad \cdots \cdots (\text{答}) \end{aligned}$$

である.

- (3)  $a_n \geq 60$  となる最小の自然数  $n$  は

$$10^{2-2^{1-n}} \geq 60$$

を満たす最小の自然数である. これは

$$\begin{aligned} 2 - 2^{1-n} &\geq \log_{10} 60 \\ \frac{1}{2^{n-1}} &\leq 2 - \log_{10} 60 \\ 2^{n-1} &\geq \frac{1}{2 - \log_{10} 60} \quad \cdots \cdots \textcircled{1} \end{aligned}$$

と変形される。ここで

$$\begin{aligned} 2 - \log_{10} 60 &= 2 - (1 + \log_{10} 2 + \log_{10} 3) = 2 - (1 + 0.3010 + 0.4771) \\ &= 2 - 1.7781 \\ &= 0.2219 \end{aligned}$$

$$\therefore 0.2 < 2 - \log_{10} 60 < 0.25$$

$$\frac{1}{5} < 2 - \log_{10} 60 < \frac{1}{4}$$

$$5 > \frac{1}{2 - \log_{10} 60} > 4$$

$2^2 = 4, 2^3 = 8$  より、①を満たす最小の自然数  $n$  は

$$n - 1 = 3 \quad \therefore n = 4$$

……(答)

である。